

ロードスターND系 グロメット取り付け穴加工 作業例

①パイプ部分を根元からカットします。
電動カッターがあると作業がしやすいです。



③穴を拡大した状態です。
電動リューターがあると作業がしやすいです。



⑤穴が22mmになりました。
ステップドリルによっては奥の方に削り残し部分が残ることがあります。



⑦グロメットの溝径は18mmですが、穴の大きさに余裕がないと、グロメットが入りにくくなってしまいます。



⑨グロメットの溝径部分を、開けた穴の内側に接触させるように、丸い棒などを使い、外側に押し広げて形を整えます。



②切断後の状態です。
ここから穴を大きくしていき、ステップドリルの下穴を作ります。穴の中心からではなく、下方向に穴を広げていくイメージで進めます。



④ステップドリルで穴を22mmに仕上げていきます。
ドリルが細いタイプだと先端が接触してしまうので、30mm以上の加工に対応したものを選ぶと良いでしょう。



⑥削り残し・バリがあればハンドリーマーで取ります。



⑧グロメットをはめ込みます。



⑩作業完了です。
取り付け説明書を参考に、バルブを差し込みます。

